

# 前期基本計画 総括評価シート

## 1 基本情報

施策名	1 - 1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり				戦略名	若い世代定住プロジェクト			
担当	主担当部	都市建設部	主担当課	都市計画課					
	部長名	高石 和明	関係課	建築宅地課	道路課	環境課	生涯学習課		

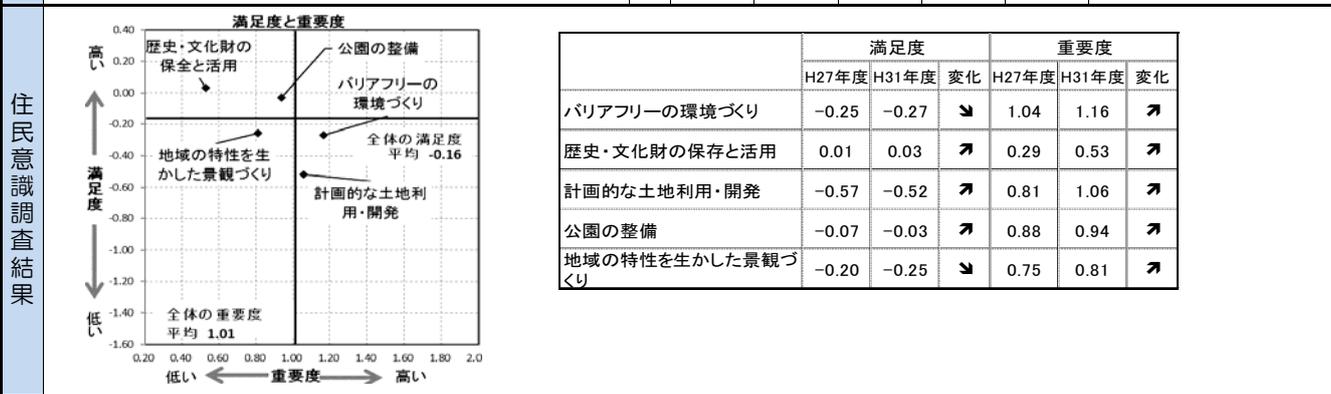
## 2 取組目標

- 市街地や集落地などが緑や田園空間に包まれ、ゆとりの環境や都心へのアクセスが良いという特性を活かし、子どもや若い世代が白井らしい豊かな暮らしを楽しめる環境を整えていきます。
- みどりの中にある文化資源を活かし、若い世代も含めて白井市の魅力を感じる、ゆとりある良好な暮らしの実現を目指します。

## 3 前期基本計画の成果

取組成果	<b>取組1 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から、市内に住む親世帯と同居または近居のために住宅の購入、新築、増築などを行う転入者への補助金の交付を開始したことで、平成31年度までに82世帯の新たな若い世代の転入を生み出し、子育てや介護など親世帯とお互いに助け合える環境を整備できた。</li> <li>・平成30年10月に根公益的施設誘導地区地区計画を定め、施策1-2「働く場を生み出すまちづくり」や施策3-1「都市拠点がにぎわうまちづくり」と連携して施策を推進したことにより、令和2年2月に商業施設、4月に複合型子育て施設が開設され、市の活性化とともに、働きながら子育てをしやすい環境整備につながった。</li> </ul>
	<b>取組2 子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の点字ブロック改修工事を1か所、歩道の段差及び勾配改良工事を4か所実施し、子ども連れでの移動がしやすい歩道を整備することで、道路のバリアフリーに対する満足度が高まり、外出しやすい環境が整ったと考える若い世代が増加した。</li> <li>・子どもたちが安全・安心に使用できるよう、計画的・効率的に公園施設や遊具の機能維持を行うため、令和2年度の長寿命化計画の策定に向けて、平成30年度に予備調査を、平成31年度に健全度調査を実施することで着実に進んだ。</li> </ul>
	<b>取組3 みどりや文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館や文化センター脇の森林を活用し、平成29年度から「ナソトキウォーキング」をときめきマルシェと同日に開催したことにより、多くの人が白井のみどりや歴史・文化に触れ、興味を持つ機会を提供でき、満足度向上につながった。</li> <li>・平成29年度において、文化財を所有する市民等の協力を得て、東京大学空間情報科学センターと協働して「白井旬マップ」「白井散策マップPro」の2つのGPSを活用したiPhoneアプリを作成、無料配信することにより、特に若い世代が歴史や文化資源の魅力を発見できる機会を提供できた。</li> </ul>

成果指標	施策指標名	単位	基準値	実績値		目標値	達成度	達成状況		
				H28年度	H31年度			R2年度	達成率	
	若い世代が暮らしやすいまちと思う若い世代の割合	%	64.6	72.7	60.9	72.7	×	◎ 目標達成	100%以上	
	快適に暮らせる住環境が整っていると思う若い世代の割合	%	-	57.6	51.2	64.0	×	○ 目標に近づいている	75%以上	
	親子で外出しやすい環境が整っていると思う若い世代の割合	%	-	51.7	61.6	61.0	◎	△ 基準値を現状維持	50%以上	
	白井のみどりの環境に満足する若い世代の割合	%	-	72.8	80.5	72.8	◎	×	基準値より悪化	50%未満
	白井の文化資源に満足する若い世代の割合	%	-	54.6	56.1	62.0	△			



## 4 前期基本計画の総括(主担当部長による評価)

評価	B	A 目標を上回る成果があった	C 目標をやや下回る成果となった
	B	目標どおりの成果があった	D 十分な成果があがらなかった
評価理由	<p>成果指標や住民意識調査の一部については、現時点では十分に成果が数値に表れていないものもある。</p> <p>一方、数値化できない成果として、各取組においては、商業施設や複合型子育て施設の開設など新たな都市機能の創出や、親世代との同居近居支援による若い世代の転入の促進、道路のバリアフリー化や既存の緑を活用したイベントの実施など、取組目標である、「若い世代を中心としたゆとりある良好な暮らしの実現」に向けて着実に進んだことから、総合的にみて本評価とした。</p>		

## 5 後期基本計画への反映

企業等と連携しての住宅環境の整備や、親子で楽しめる公園などの環境の整備を推進するほか、若い世代におけるステージごとの定住支援策を展開する。

また、みどりを含めた様々な地域資源について、市内外への情報発信を促進する。

## 6 総合計画審議会の意見

【令和2年8月28日付け白総審第3号「白井市第5次総合計画後期基本計画について(答申)」において、戦略1について付した意見】

- ・若い世代の人生設計をめぐっては、「子育て・教育環境」、「住環境」、「働く環境」、「親の介護・自身の老後」といったことをトータルで考えていくことが重要なため、各種施策を分断せず、積極的な連携とその見せ方を工夫されたい。
- ・若い世代の置かれた状況に焦点を当て、待機児童ゼロという数値だけでは表せない保育の質や、若い世代の希望に応じた働き方など、「質」という側面の充実を図られたい。